

ああ、恥ずかしい私の失敗談

今年お正月明けの 1/8 に三佐川さん、長倉さん、森川君他 4 名で羊蹄山墓地の沢コースのスキーに行ったときの事です。

1 泊 2 は気の予定でその日は絶好の山スキー日和でした。私自身 2 か月ほど前に新しいスキー板を購入して、ゲレンデでの足慣らしをしたのち、既に 1 回羊蹄山へ行ってこれが 3 回目の滑走でした。

登山口のやや少ない雪の中すいすいと調子よく私としてはかなりのハイピッチで登高したのが、今にして思えば地獄の登竜門だったのです。前シーズンまでに使い慣れた L=168cm, センター 88mm の板に比べて 179cm, 105mm (+11cm, +17mm) は、重く、重く確実に体力を奪っていたのです。標高 1600m あたりで、後ろから「もうそろそろいんじゃない〜い」という声があがり、滑走する事となりました。4 時間ほども登ったでしょうか？

滑走に入り当初のオープンバーンを滑り、林間に入った辺りから太ももが引きつりだして膝がガクガクし始めました。「やばいな〜」新しい板は長くてとっても良く速く滑るので、足がもうついていけなくなっていました。ターンの度に尻餅をついて止めるのが精一杯になっていました。みんなにはすっかりおいて行かれボロボロになりながら何とか最終の開けた緩斜面に辿り着き、一息つきました。「ここまで来れば大丈夫、少しだけ本当の自分を取り戻そう！」悪魔の囁きでした。

それまで極端な左右の斜滑降から板を真下に向けると、足に力がないため真っ直ぐ突っ込みやや左足が左に開いた状態でヘッドスライディング。左膝が「ゴ・キ」とも「グ・リ」とも何とも言えない怪しい感触で転倒しました。幸い下山口までもうすぐ近くだったので、心配して待っていてくれた長倉さんにザックをお願いして超ボーゲンで恐る恐る自走して戻りました。

その後三佐川さんの付き添いで倶知安厚生病院で応急措置をしてもらい、宿泊予定だったサヒナでメンバーの皆さんに負傷報告をして帰札しました。三佐川さん本当にありがとうございました。

神さん、秋元さん他会員の方々いろいろとご心配、お手数おかけしました。

ありがとうございます。

「前十字靱帯損傷」・・・ 捲土重来を期して、来週手術を受けます。

大反省しています・・・「気を付けよう、下手なスキーと体力過信」

以上